

左から園部昭取締役、臼倉伸昭土木本部副本部長、坂口信所長。互い への軽口をまじえながらの会話が弾む。それでもそのやりとりからは 現場の一体感と、所長に対する深い信頼感が伝わってきた。

群と言われる地層と沖積層の軟弱地盤で、

て盛り立てていく。

|小麦粉||のような軟弱地層

「当現場では特殊な工法や資材が使われて

# 佳境を迎えた圏央道の千葉県区間

て整備が進められ、 環状道路の一番外側を走る。道路交通の円滑化、 外環道とともに環状道路網を形成する首都圏三 そしてアクアラインを結ぶ圏央道。 都市間の連絡強化、そして災害時の代替路とし 上が開通している。 八王子、 川越、つくば、 現在までに総延長の半分以 成田、 中央環状線、 木更津、

成田市内を縦貫する区間の下総ICの建設現場 土工現場が展開していた。 今回訪れたのは、この圏央道の千葉県エリア のどかな田園風景のなか、 掘削土量は約一四万 ダイナミックな

了して、 「所長は無口で、彼だけでは取材にならない になってきました」。取材には園部昭取締役、 いを誘う。仲間の連帯感を強く感じる。

### がちょっと厄介でしたね」。泰然自若と話を進 める坂口所長だが、言葉の端々から現場のご苦 るということはありません。ひたすら土を切っ ム層の下に砂質土があり、谷部に しかしここの地層は下総層 ソな砂質ですから法、法面の施工には適 粘性の これ 稲敷IC 稲敷東IC 茨城県 神崎IC 下総IC 408 千葉県 開通済区間 事業中区間

2014年4月に稲敷IC ~神崎IC区間、10.2kmが開通 下総ICを含む、これに続く事業中区間が開通するこ とで、千葉県と茨城県を結ぶ重要な道路となる。

思いまして」という園部さんの一言が一同の笑 です。進捗率は六五%。切り盛りも九割がた完 長にお話を聞いた。「道路土工がメインの現場 猛暑を避け現場事務所で株木建設㈱の坂口信所 月初旬の取材当 するカルバー 造物や調整池の整備に加え、圏央道の下を横断 大山幸司現場代理人にも加わっていただいた。 倉伸昭土木本部副本部長、そして所長の右腕、 達な現場の雰囲気が伝わってくる取材になった。 盛土が約二〇万立方景。法面、排水構 インターチェンジの形状も分かるよう (函渠)を構築する工事だ。 日は恨めしくなるほどの晴天。 Ħ

#### 発注者:国土交通省関東地方

工事概要

整備局 施工者:株木建設株式会社 期:平成25年11月~

> 平成26年10月 先~倉水地先

工事区間: 千葉県成田市名木地 工事内容: 道路土工 (掘削139, 000㎡、路体路床盛 ±198,900 ㎡)、地 盤改良工、法面工、 石・ブロック積(張) 工、カルバート工、 排水構造物工、調整 表面を粘性土や改良土で覆って安定させまし 飛ばされる。盛土の中央部分にこの砂を使って、 面を施工しても雨が降れば流れる。風が吹けば

建設会社一七社(取材当時)と国土交通省関東 達していると は、この現場内で掘削した土砂だけでは賄えな い。不足分は隣接する圏央道の他の現場から調 土工量は前述した通りで、 いう。 週に一度、隣接する工区の 造成に必要な盛土



下総ICの建設現場は「土工」が中心となる現場だ。土の性質を見極めながらひたすら大地を切り盛りして、圏央道の要衝を構築していく。 圏央道下総ICの整備によりこの一帯も豊かな自然を残しながら少しずつ変わっていくことだろう。

残る成田を中心とした区間の整備が佳境を迎えている。

支えられた現場だつた。

「土」にこだわり続けるプロフェッショナルたちの眼に インターチェンジを構築する土工の現場を訪ねた。 千葉県内の区間は全長約九五\*。シニ゚これまでに約七割が開通し、

高規格幹線道路が首都圏中央連絡自動車道(圏央道)だ。都心から四〇~六〇\*゚ンミの円を描く全長約三〇〇\*゚ンミの

C改良その3工事

### Site Discovery



削した下総層群の砂質土は、

さなかった。

「小麦粉のような砂質です

沖積層である軟弱地盤が広がっているため、

高い関東ロ 労が伺えた。

一帯の台地は下総層群で、



限に抑える施工、 要に応じてセメントを混入した改良土を使うこ 会議を開催、進捗状況や資材になる土砂の搬出 入などを綿密に打ち合わせている。「それでも 地方整備局常総国道事務所が一堂に会し、 ともあります」。土の性状を精査し、沈下を最小 土の性質は搬入されるまでは分かりません。必 それが土工の使命と話す。

## 「一生懸命がんばる」が原点

いただいた。坂口所長の表情も心なしか引き締 事務所で概略を伺ったあと、現場を案内して



レキャスト方式で構築した。(提供:株木建設(株))

期を短縮するためにカルバートは事前に工場製 皆さん協力的で、世間話をしたりお茶を出して 辺の皆さんにもご迷惑をおかけしていると思い で工期は大幅に短縮、施工も省力化できたと 個の部材からなる。 二〇のピースに分割され、さらに一ピースは六 すった。近隣の市民とは頻繁に顔を合わせる。 レーラーで現場に搬入し組み上げて函体を構築 式が採られた。二五㍍を超えるカルバー 作した部材を現場で組み立てるプレキャスト方 した。予定していた現場打ちから変更したこと ただいたり、友好的な関係を築いている。 一日も早く完工したいですね」と目をこ 時間に余裕があるわけではない。 つまり一二○もの部材をト トは

施工上の工夫を自主的に提案した。 や構造物の最終形を常に思い描きながら発想す 「所長の着眼点は普通とはちょっと違い、 夫が随所に活かされているんです」と説明する。 「所長の頭の中にはこれまでの現場で培ったデ こうした大規模な変更以外にも細部にわたる タが全部入っている。その経験に基づい 臼倉さんは た工

上/組み立てられたカルバート。右上にみえるのがICから降 りてきた車を一般道へ誘導するカルバート。 下/取材時には下部道路部分のコンクリート打設が進められ ていた。

返ってきた。「掘削していたら出てきたんです。 問を投げかけると「ガマガエル」という答えが ともに、 見鷹揚な佇まいは確信犯かもしれない。 た」。その言いっぷりに全員倒れそうになった。 あれほど大きなヤツを発見したのは初めてでし たことをお聞きすることにある。 そのキャラクターが現場の一体感を生むよりど にあるような熱いコメントをいただくこともで それでも場は和み、元気になる。最終的には下 る』ということに尽きるのかもしれないですね」。 えて大きな解決策になるのは『一生懸命がんば ころになっていることも事実だ。 小欄の趣旨は現場のライブ感をお伝えすると 所長が改めて気付かれたこと、 しているようで鋭い。 最後にその質 所長の一

### あなたがこの現場で発見したことは何ですか?

土工事の現場は千差万別です。 これまで数多くの道路建設に携 わってきましたが同じ土質、地層の現 場はふたつとありませんでした。ここ 成田でも下総層群という土質を見極め、 最適な対処方法を見いだすことに専心 しました。事前調査で得たデータを持 っていたとしても、地層全体を完全に 把握することはできない。深いところ の土は見えないんです。だからこそ真

剣に取り組まないといいものは造れな いと実感しました。図面や資料だけで は分からないことを知っているのはや はり日頃から当地の土を扱っている地 元の施工業者さんたちです。彼らの経 験値も現場を支える大きなファクター になっています。若手職員も良し悪し に関わらず先輩たちの技術を学び、貴 重な経験を積んでほしい。ここはそれ ができる現場です。



株木建設株式会社 圏央道下総IC改良その3工事 監理技術者

坂口 信 Makoto Sakaguchi



法面は布製型枠にモルタルを充填す る方法がとられた。ブロックを積み上 げる工法より大幅に工期を短縮する ことができた。

調達などクリティカルな状況に直面したことも ことをやっているだけなんですけどね」。工期 が困惑した表情を浮かべていた。「当たり前の ぶことが多いと話す。「何工程も先の現場が見 園部さんだ。排水溝の勾配を変えてみる。カ るので説得力があるんです」と付け加えるのは あった。そんなときも気負うことはない。「人員 短縮もさることながら、 ンポがいい。その場でも「あ、 互いに信頼感が醸成されているため非常にテ さは驚異的です」。発注者との技術的な協議も わされることばかりだという。 えているようで、掘削すら始まっていない状態 た。小さな工夫ではあるが、順調な進捗に奏功 したことは確かだ。所長を支える大山さんも学 ひとしきり持ち上げられたところで坂口所長 トを覆うブロック施工では補強土壁を施し 次々と指示が飛んでくる。 不足する人手や資材の そうか!」と思 引き出しの多

や機材の増強といった手当は当然のことです。

手のひらに乗せる。確かに粒子が細かくサラサ 広がっていた。坂口所長が足元の土を拾い上げ、 まって見える。

広大な敷地内に褐色の造成地が

ているそばから砂塵が舞い上がる。「砂埃で周 すると粉のようになってしまうんです」と話し ラとした感触だ。「下総層群もローム層も乾燥